

# 拉致問題解決へ支援を

北朝鮮による拉致被害者の横田めぐみさんの愛用品が、10日から県庁1階の県民ホールに展示される。同日から始まる「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に合わせ県などが企画した。母親の早紀江さん(79)は「どこのご家庭にもあるような娘の思い出の品々です。拉致問題が一刻も早く解決するよう、ご支援いただければうれしい」と提供に至った心情を語った。16日まで。

展示されるのは、早紀江さん(79)が縫った浴衣やバレエの発表会で着た衣装、めぐみさんのお気に入りだった人形2体の計4点と、拉致問題関連の写真や資料約50

1977年にめぐみさん



横田早紀江さんが大事にとってある、めぐみさんの愛用品＝県庁

募金も予定

## 横田めぐみさん愛用品 10日から県庁で展示

の行方がわからなくなり、その後、横田さん夫妻は88年から約3年間、勤務の関係で前橋市内に住んだ。長女を16歳で失った大野さん夫妻と市内の教会で知り合い、交流を深めてきたという。早紀江さんは「一刻も早く帰ってきてほしい。その日が来ることを38年間、ずっと待ち続けています」と思いを語った。

「拉致問題が解決しないまま世間の記憶が薄れてしまうのが一番怖い」と大野さん。「めぐみさんが愛用した品々を展示することで、県民の皆さんに改めてこの問題を認識してほしい」と話した。

県、北朝鮮拉致問題解決促進議員連盟、救う会などが主催。午前9時～午後6時(10日は正午から、最終日は午後3時まで)。会場には募金箱も設置する予定という。(馬場由美子)